

いずみざき

議会だより No.51
令和4年2月1日発行



輝く未来を子ども達へ



いずみちゃん

目次

- 表紙 …… 泉崎第一小学校
- 2～4ページ …… 12月定例会・11、12月臨時会の中身は？
- 5～11ページ …… 7名の議員が村政を問う！
- 12ページ …… 議会インフォメーション・編集後記

泉崎村HPアドレス：<http://www.vill.izumizaki.fukushima.jp/>

報告

会期 11月30日(火)～12月10日(金)



議案第57号 令和3年度泉崎村一般会計補正予算(第7号)の主な内容		
8,685万5千円を追加し予算総額を38億6,194万円とする		
歳入	金額	内容
地方交付税	305万1千円	公共施設長寿命化へ向けて総合管理計画の策定に対する交付税
衛生費国庫負担金	1,504万7千円	新型コロナウイルスワクチン接種対策費
歳出		
高屋堰に係る特定調査区調査委託料	1,100万円	高屋堰の機能保全計画
瀬知房農村公園の遊具撤去費用	330万円	遊具の老朽化で危険なため撤去
子どものための教育保育給付費負担金	1,775万4千円	保育所負担金
踏瀬長峯地区地形図作成費用	576万4千円	踏瀬長峯地区も圃場整備の該当になったため

副村長に
田崎氏同意

◎議案第66号 泉崎村副村長の選任につき同意を求めることについて

氏名 田崎 洋氏 住所 関和久字瀬知房



この度1月1日付けで、箭内憲勝泉崎村長の下副村長の任を拝命し、村政の一端を担わせていただくこととなりました。もとより微力ではございますが、今までの行政経験を生かし村長のスローガンでもあります「住んでよし、誇れる村づくり」を目標に、魅力ある村づくりにむけ、決意新たに全力を尽くす所存でございます。

村民の皆様のお一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

○議会に届いた請願書

	件名	提出者	紹介議員	結果
請願書第4号	消費税のインボイス制度取りやめを求める請願書	民主商工会 会長 二階 三樹男氏	白石正雄議員	不採択



録画映像はこちらから
スマートフォンでも視聴可能!

※アクセス件数

- ・議会会議録
延べ件数 6,923件 (月平均 50.2件)
- ・議会映像中継
延べ件数 7,075件 (月平均 50.9件)



議会会議録、議会の映像を確認できます! ~村HP「村議会」から確認ください~

令和3年 第4回 12月定例会

(✓：議長は採決に加わりません 欠：欠席)

議案番号	議 案 件 名	議席 可・否	1	2	3	4	5	6	7	8	9	議長
			鈴木 盛利	小針 辰男	白石 正雄	廣瀬 英一	鈴木 義男	飛知和良子	木野内 悟	野崎 隆	岡部 英夫	
議案第54号	福島県特定事業活動振興計画に基づく村税の特例に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第55号	泉崎村課設置条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第56号	泉崎村税条例の一部を改正する条例 産業競争力強化法等の一部を改正する等の法律、特定都市河川浸水被害対策法等の一部を改正する法律が公布され、令和4年1月1日からの施行に伴い、村税賦課等に対応するため所要の改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号	令和3年度泉崎村一般会計補正予算（第7号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第58号	令和3年度泉崎村国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 歳入において一般会計繰入金で42万9千円を増額し、歳出においては人件費で42万9千円を増額、予算総額を7億6,699万2千円とするもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第59号	令和3年度泉崎村介護保険特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ2,274万6千円を追加し、予算総額を5億9,590万9千円とするもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第60号	令和3年度泉崎村農業集落排水処理事業特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ121万5千円を追加し、予算総額を1億8,488万9千円とするもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第61号	令和3年度泉崎村水道事業会計補正予算（第2号） 雷神山地区の本管布設替工事を行うため資本的収入の一般会計補助金130万円を増額し資本的支出では配水施設改良費262万3千円を増額するもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第62号	泉崎村教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて 泉崎村教育委員会委員の欠員に伴い委員の任命につき議会の同意を求める 住所 泉崎村大字泉崎字八丸 氏名 菊地 幸氏	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第63号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 福島県人事委員会より出された職員の給与に関する勧告に準じ、期末手当年額0.15月分の引き下げを行うため	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第64号	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 一般職に準じ、議会議員の期末手当の支給率を引き下げるため	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第65号	村長等の諸給与及び費用弁償額並びにその支給方法に関する条例の一部を改正する条例 一般職に準じ、村長等の期末手当の支給率を引き下げるため	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第66号	泉崎村副村長の選任につき同意を求めることについて	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案第54号 福島県特定事業活動振興計画に基づく村税の特例に関する条例

○福島復興再生特別措置法の規定により、提出特定事業活動振興計画に基づく、特定事業活動の用に供する特定事業活動施設等を新設した事業者に対して課する固定資産税の課税免除の措置を講ずるため条例を制定する

議案第55号 泉崎村課設置条例の一部を改正する条例

○住民に分かりやすく、きめ細かな地域行政を行い、住民サービスの向上を図るため所要の改正
住民福祉課を住民生活課と保健福祉課、事業課を建設水道課と産業経済課に改めるため

年 度	課 名			
令和3年度	住民福祉課		事業課	
令和4年度	住民生活課	保健福祉課	建設水道課	産業経済課

令和3年第4回 11月臨時会報告 会期11月19日(金)

(/ : 議長は採決に加わりません 欠 : 欠席)

議案番号	議 案 件 名	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	議長
		可・否	鈴木 盛利	小針 辰男	白石 正雄	廣瀬 英一	鈴木 義男	飛知和良子	木野内 悟	野崎 隆	岡部 英夫	鈴木 清美
議案第52号	さつき公園長寿命化改修工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議案第53号	令和3年度泉崎村一般会計補正予算(第6号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/

【議案第52号】さつき公園長寿命化改修工事 請負契約の締結について

泉崎村農業者トレーニングセンターの屋根を改修するための工事
 * 屋根塗装、防水処理の修繕工事
 契約の目的 さつき公園長寿命化改修工事
 工事の場所 泉崎村大字泉崎字白石山3番地1
 契約の方法 指名競争入札
 契約金額 56,100,000円
 契約の相手方 高田工業 株式会社
 代表取締役 佐藤勝栄



鈴木 義男

踏瀬字新池下
昭和33年2月22日

* 議長 5番
 * 総務厚生常任委員会委員
 令和3年10月17日執行の泉崎村議会議員補欠選挙において、鈴木義男議員が当選(無投票)されました。11月19日の臨時会において鈴木義男議員の議席及び常任委員会が決定いたしました。

議案第53号 令和3年度泉崎村一般会計補正予算(第6号)の主な内容

5,979万円を追加し予算総額を37億7,508万5千円とする

歳入	金額	内容
特別交付税	153万8千円	見込みにより増額補正
国庫補助金	5,825万2千円	18歳以下へ5万円給付財源、新型コロナウイルスワクチン3回目接種へ向けた財源等
歳出		
子育て世帯への臨時特別給付金事業	5,234万円	18歳以下への5万円支給の財源、事務費
感染拡大防止協力金	105万円	県短縮要請に応じた事業者へ上乗せの協力金
公共施設に二酸化炭素濃度測定器を設置する事業	550万6千円	村内公共施設へ換気を促すため二酸化炭素濃度測定装置を184台設置
新型コロナウイルスワクチン接種の3回目実施に向けてのシステム改修	89万4千円	3回目接種に向けてのシステム改修

令和3年第5回 12月臨時会報告 会期12月21日(火)

(/ : 議長は採決に加わりません 欠 : 欠席)

議案番号	議 案 件 名	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	議長
		可・否	鈴木 盛利	小針 辰男	白石 正雄	廣瀬 英一	鈴木 義男	飛知和良子	木野内 悟	野崎 隆	岡部 英夫	鈴木 清美
議案第67号	令和3年度泉崎村一般会計補正予算(第8号) 年明けに予定していた5万円分のクーポン支給を国の方針を受けて年内に現金での給付に変更し、10万円分の一括給付とするため、補正予算を編成するもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	/

村政運営基本姿勢

白石 11月30日、今議会初日に行われた箭内村長の所信表明を聞かせていただいた。行政経験46年の発言は重みがあると感じたが、所信表明の中で示されなかった職員教育にも努力する必要があると感じた。村内企業の中には求人しても人が集まらない現状がある、小林村長時代に作られた職業紹介所の再稼働も必要ではないか。

村長 きめ細かで温かみのある行政運営を基本に、4つの指針を柱に進めたい。
①若者の力で地域を支える。
②課題を全村民で理解し解決して行く村づくり委員会制度。
③医療、介護、福祉の充実と「相談できる」医



白石 正雄 議員

療体制の強化。④多様な意見を吸い上げ、合理的な政策立案実行。そのために窓口での相談対応や村民との信頼関係の構築、などに努力する。職員研修として県への出向を再開したい。村内企業を回り懇談して実態把握に努める。

少子化対策

白石 村内に空き家が増える一方で、借家するならばと新築する若者が増えていくのも事実。総合的な長期計画として、年次計画で優良宅地供給計画を持つ必要があるのではないか。

村長 これまで多くの住宅団地造成を行い分譲してきた。民間の事業者により専門的戦略からの分譲販売も好調である。村営住宅跡地など無償分譲地のさらなる拡大を検討していきたい。

食堂のある学校

白石 多くのメリットが考

えられる自校方式で、食堂のある学校給食を実現すべきではないか。中島村では当初5億円の計画が7億円かけて給食センターを新築した。村内では空き教室を利用することで初期費用を抑えることができる。子どもの脳の発達を考えても検討すべきだ。

村長 検討委員会を立ち上げ進めていく。現在、担当部署において資料収集など準備作業を進めている。

駅周辺整備

白石 駅東口と限定せず、駅を中心として東側と西側両側の開発構想が必要でないか。長期計画として駅を中心とした開発計画を、村民と一体に構想する必要があるのではないか。

村長 本年1月19日議会全員協議会で進捗状況を説明し、その後JRとの協議を継続している。工事費の大幅縮減には至っていないことから、東口部分だけでな

く西口部分も含めた駅周辺全体について県の指導をいただながら各種検討を行っている。

医療福祉充実

白石 社会福祉協議会との連携を見据え、政策的には指導的立場にある村側の体制をどう整えていくのか。役場側も専門家集団にすべきでないか。

村長 南東北病院ならびに、社会福祉協議会との連携をこれまで以上に強化していく必要がある。必要に応じて専門的人材の配置を行っていく。

住民福祉課長 住民福祉課福祉係には、保健師3名、管理栄養士1名が配置されている。社会福祉協議会には社会福祉士3名、介護支援専門員5名、精神保健福祉士1名、ヘルパー2級1名、介護福祉士6名、栄養士1名、保育士22名がいる。高齢化の進展により介護需要が高まる中で、社会福祉

士や保健師の村職員採用も考えられる。福祉政策前進のため実態の把握に努め、必要な専門職の確保、人材の育成、組織の見直しなどを検討していく。

女性議会の開催

白石 10月20日福島市の文化センターで行われた町村議会議員研修会の講師が紹介した全国の先進市町村の取り組みの中に、鹿児島県可児町の女性議会の開催がありました。女性議会でも出された意見を議会がまとめ政策提案を実現しています。泉崎村の政治に女性が参画することで前向きな変化が生まれてくると思う。見解を伺う。

村長 村長選挙の公約として小中学生議会の開催を訴えさせていただいた。中学生に拡大して実施することにより若者の村づくりへの参画が推進できると考えている。男女平等の観点からも、女性に特化した議会を

さつき温泉を運営するイズミザキコーポレーションが、泉崎観光に収めるべき施設使用料が数カ月にわたり滞納している事について

鈴木 11月末日現在の納付状況を伺う。

事業課長 令和2年度分延滞金2千万円の内、11月26日までに、1千9百万円の納入確認、百万円が未納となっております。

令和3年度分4月から11月の8カ月分2千103万4千100円の内、7月13日を最後に計79万9千100円(4・5・6月分使用料)を各月毎に納入確認、7月分から11月



鈴木盛利議員

分の5カ月分1千312万5千円は未納です。
(合計1千412万5千円未納)

鈴木 滞納がある場合、コーポレーションからの説明等はあったのか、またどの様な説明か伺う。

事業課長 9月議会の同じ答弁になってしまいましたがご理解願います。

(令和3年7月29日の協議後は行っていないようです。馬鹿にした話です。)

鈴木 今年度の契約更新、契約書のコピーの提出を願う。(契約書コピー全議員に配布)

鈴木 契約書には使用料等が表記されていると思うが、音声で議事録に記録したいので現在の使用料と昨年の使用料と、その差額を伺う。また、何故差額が出る事になったかの経過についても説明願います。

事業課長 令和3年3月ま

での施設使用料は、年間5千150万円(令和2年4月)令和3年2月の11カ月は月額430万円、令和3年3月分は420万円)。

令和3年4月からは年間3千150万円(月額262万5千円)、で年間2千万円の減額です。

これは、泉崎観光がJA夢みなみから、融資を受けていて、令和6年に完済する予定のものを令和16年まで返済延期しての使用料を減額したものです。

鈴木 村の水道料金滞納の場合、どの様な規定か伺う。

事業課長 納入期限後20日以内に督促状を発送、その後2週間後に催促書を出しても収められない場合は、止める規定です。

(杓子定規ではなく、止めるときは、話し合いがされるようです。)

鈴木 泉崎村丸船長、また泉崎村株式会社社長としての舵取りを令和7年10月31日まで担う事です。

泉崎村が株式会社ならば株主は住民・村民であります。株主をおろそかにして、自分だけがよくなるとう言う様な考えがあるとするれば、とんでもない事と思う。

前質問者への答弁、これを遂行していくとすれば、私は支持してまいります。

これからの泉崎村の50年後、100年後、200年後を考えると、人材育成、こどもの教育をして、村の職員になってもらいたい。

職員採用、大変難しいと思いますが、勉強にたけている人よりも利口な人、機転の利く利口な人を職員として採用していただきたい、こういう人は、住民・村民の相談を受けたときに、その人に親身になって考えてくれると私は思います。

それともう一つ、国・県の省庁からの通達が入ってきた時に、他市町村より、一早く察知して、活用して有利な事業、工事費用等が

出来る事があるようです。このような提案をしながら、私の質問を終わります。考えをお聞かせ下さい。

村長 村政運営は、住民の皆様の痛みを感じ、かゆいところに手が届く、きめ細かい温かみのある行政運営、これを基本とします。

職員には、働きやすく、能力を発揮できる、環境づくり。

議会の皆様には、透明性に心がけ、大きな政策課題は、事前に調整させていただき一緒に考えて進める姿勢で臨みます。

村が関係する株式会社の経営状況の把握、分析、関係者と一丸となって健全経営をめざします。

職員採用のご意見、貴重な提案、参考にさせていただきます。

国・県からの通達関係、これは職員が一番先に目にするのでいち早く私につながるように、重要か否かは私の判断、よく指導してまいります。

村長就任の基本的考え思いを伺う

泉崎駅東口について

木野内 当初JR側から提示された工事費、7億5千万円のはずが、約2億5千万円追加の合計約10億円かかるという話があり、駅東口の開発が、協議の結果、議員全員一致で一旦凍結で決定いたしました。今後、駅東口開発をどの様に考えているのか伺う。

村長 全員協議会で、詳細設計については説明させていただいておりますが、工事費の増額により、現在の基金では対応しきれない状況であります。JRとの協議も継続しているところですが、大幅な工事費の縮減に至っていない状況であります。



木野内 悟 議員

東口部分だけでなく、西口も含めた駅周辺全体についての可能性を模索し、何が必要か、どんな補助金があるのか、起債等活用できないのか、再検討しているところでもあります。

木野内 JRから提示された10億円は、はい分かりましたという金額ではありませんので、現在使われている高架橋を利用し、東口につなげる構想は出来ないのか、村として負担額を抑える交渉をしていただきたいのですがいかがですか。

村長 現在の高架橋を利用する案も、選択肢の一つとして検討しましたが、安全管理、それから防犯、管理上問題があるということで、採用されなかったという経過であります。

木野内 駅東口開発を進めるとして、今後、村道程内・如信沢線を含め、周辺をどの様な開発を考えているのか伺う。

村長 今、進めている実施計画の内容は、駅東口のみを想定し計画を立てており

ます。この事業に10億をかけるべきなのかは、疑問を抱くところがございますので、県の方にも相談していただき、補助事業等、または起債が使えないかを調べて、計画を練り直す必要があるかもしれません。

泉崎南東北診療所について

木野内 令和元年度に業務委託5年間を契約され、今後の方向性として、新設してほしいとの話しを伺っております。現在約1億円かけてアスベスト除去や耐震補強工事を行っておりますが、村としてどの様な対応、協議を南東北としていくのか伺う。

村長 泉崎南東北診療所の建て替えにつきましましては、村の重要課題の一つとして捉えております。耐震補強工事、アスベスト除去工事は、診療所利用者及び医療従事者等の安全確保のため、村の責務として実施したものであり、命を守るための必要経費であると考えております。ご承知のように、

建物は老朽化が進んでおり、年々修繕費が増大傾向にあり、建物の構造や診療室のレイアウトが現代の仕様に合わず、使いにくいと言った意見も頂いております。建て替えにつきましては、時期を含め、財団との協議を本格化させ、調整して参りたいと思います。

住民福祉課長 建て替えにつきましましては、大きな課題となっております。建て替えの基金は、令和2年度末で6千万円となっております。今後、村長並びに財政当局と調整を図りながら、基金増額の対応をしてみたいと考えています。

農業者支援について

木野内 令和3年度の米価が大幅に下落し、JA概算金（追加払五百円を含め）1俵9千3百円となり、農家の生産原価を大きく下回り、大変厳しい現状であります。背景には、人口減少も当然あり、単に米を食べなくなつた方もいらっしゃると思います。しかし、何といたしても、新型コロナウイルス

の影響で飲食店等が思うように使えなかった事で、米余りが生じ、農家を苦しめております。この様な悲痛な状況を踏まえ、耕作放棄地を増やさない、来年に向けての生産意欲を閉ざさない、村としての基幹産業を守る観点から、支援策は必要と思いますが、村としての考えを伺う。

村長 令和3年産の主食用米の生産目安は、福島県は達成、全国ではほぼ達成した一方で、新型コロナウイルスの影響で、業務用米の需要が低下し、在庫増の結果、米価が大幅に下落しました。福島県は、生産意欲の維持・向上を目的として、水稻種子の助成、福島米生産意欲向上支援緊急対策事業を設立しましたが、果たして、下落幅に対し、こうした助成金で生産意欲の維持・向上が図れるかは、甚だ疑問を抱いております。今後は、他町村の状況を確認しながら、動向を見極めて、手薄にならないよう、慎重に検討、対応して参ります。

子育て支援「ママさん議会」開催の提案について

小針 村民の多様な意見を集約するための取組みとして、子育て中の女性が参加する「ママさん議会」の開催をし、子育て世代の女性の雇用危機、課題を共有するために重要な対策と思われませんが、見解を伺います。

村長 私は「開かれた村長室」を目指し、若者が参加できる村政運営を目標の一つとしてございます。男女平等の観点からも、女性に特化した議会を検討する考えはございません。何よりも公式の場で意見も出しにくいと思われまして、「開かれた村長室」において、



小針辰男議員

膝を交えてお話を伺うことで、より身近なご意見をお聞きすることができると考えております。子育て中の方々はもちろん、幅広くご意見を伺う機会を与えていただきたいと思います。

小針 子育て環境の整備について内容又は取組みを伺います。

村長 子育て環境の整備につきましましては、選挙公約にも掲げておりますように、人口減少対策と併せた教育の充実と子育て環境の整備を推進してまいります。具体的には、小中学校の入学祝品の充実であります。現在、小学校入学時のランドセル贈呈、中学校入学時の通学かばんの贈呈を行っておりますが、これを拡充したいと考えております。次に、結婚出産祝い金の拡充であります。現在、出産祝い品として、第3子以降のお子様をお持ちになった世帯に出産祝い品を贈呈しておりますが、これを第1子から該当させるべく、制度の見直しを行ってまいります。

次に、子どもの貧困対策として、子ども、現在、大学

進学時の支援策といたしまして奨学金制度を設けておりますが、さらに現状を把握し、小中学校等において貧困の影響を受ける児童生徒に対しても、必要な支援対策を検討してまいります。次に、保健師養成のための奨学金制度の拡充を検討してまいります。現在も母子保健事業として、妊娠期から成人期に至るまで、様々な事業を展開しておりますが、当該事業の充実を図るため、将来に目を向け、人材育成に努めます。

小針 執行者がこのような取組みをしたいという考え方と、子育て中の「ママさん」が「こいつことを、やっていただきたい」と言うのをなくすためにも、執行者と子育て中の「ママさん」の情報共有が大切であります。実際に、天王台団地内に子どもの遊び場がない。「危険な通学路」歩道の整備などニーズとしてあります。今後の泉崎村の村政に役立てていただきたいと思います。

選挙公約実現について

小針 優先順位として、駅東口開発事業の早期実現を掲げています。久保木村政のときに、西口開発については、凍結するということに承認されました。JR側と福島県側と、西口開発も含めての取組みを伺います。

村長 久保木村政時代に手がけた駅西口の関係、これと私が申し上げているものは全く別個でございます。西口で手がけた道路の計画との関係については、議会から要請をいただいで、そして、そちらの方については、計画を白紙にするというふうなことの結果が得られておりますので、その後始末処理をどうするか、その処理に当たっていくという段階であります。業者の方と調整をした結果、業者の方では、それまでにかかった経費、請求をするという行為になるのかと思ったところですので、業者の方ではその必要も要らないというふうなことになっておりますから、そちらも全て完了、終わっているというご認識を持っていただきたいと思います。

あと、駅の整備、整備そのものに関しては、選択の一つとして、西口、それから東口に併せた形で、補助事業を使えたり、あるいは起債が使えたりと、そういった選択肢がないのかどうか、そういったものを、総合的に計画、もう一度練り直しをしていきたいと思っております。

小針 泉崎南東北診療所における業務委託について伺います。

住民福祉課長 現在、泉崎南東北診療所として、運営を指定管理条件に基づきまして、財団のほうにお願いをしておりますのでありますが、そもそもこの建物自体は泉崎村国民健康保険診療所というふうなことで、設置者は村になっております。村が指定管理者として南東北財団の方を指定しまして運営の方を委託してまいります。業務委託は令和元年度から5年間の契約で協定の中には、いつ建て替えるを行うといった、時期的な部分についての記載はございません。

県道白河―母畑線のバイパス化問題について

岡部 県道白河―母畑線は関和久地区を通る道路ですが、この県道のバイパス工事が、色んな事情で休止になり、20年も過ぎた現在、県からの工事再開の動きがあり村民も大いに期待しているところでもあります。そこで伺いますが、この工事再開に向けて県はどのような考えでいるのか伺います。

村長 道路の必要性は理解されて計画に及んでいます。が、工事の再開には関係地権者の理解、協力が必要でございませう。当時、地権者



岡部 英夫 議員

の強固な反対により事業が休止された経緯がありますので、再開して又事業がストップすることの無いように考えております。

岡部 工事着工から30年近く過ぎて世代も変わっているかとも思いますが、県と村のほうで地権者との交渉は進んでいると思えますが、交渉していく中で何が一番問題なのか、公表できる範囲でいいですから、答弁をお願いします。

事業課長 答弁します。議員が話した通り、実際に何十年も経っているものから、協議している中身では土地の値下がりが一番の要因で、次が残地の問題でその2点くらいです。

岡部 土地の買収価格、残地の問題これは地権者にとっては大事な問題とします。これからもぜひ地権者と話し合っって慎重に進めてもらいたいと思います。村長の答弁のように、再開して又

ストップすることのないように慎重に進めてもらいたいと思えます。それではバイパスの問題はこれで終わります。

泉崎村の環境問題、養豚農家の異臭について

岡部 地域によりますが養豚場によります異臭悪臭を何とかならないかと言う声が多く聞かれます。そこで伺います、泉崎村では養豚農家に対して、悪臭対策として生菌剤添加事業補助金として養豚農家に補助金を出していると思えますが、結果としてその効果はどのように出ているのか伺います。

村長 泉崎村生菌剤添加事業補助金として平成23年度から実施しております。異臭対策に効果のあるものを補助対象として現在も実施しております。経営体ごとの経営状況により取り組みには差があるものの、経費を投入した分の効果はある

ものと判断しております。岡部 それなりの効果は出ていると思えますが、風向きとか色んな条件によって臭いの強い日、弱い日とかいろんな日があるらしく苦情が出ていることは間違いないですね。役場のほうに苦情の電話などは入っていないのでしょうか。

事業課長 私のところには苦情の電話は入っていない状況です。

岡部 苦情の電話が無いのは諦めているのかもしれないが、それなりの効果はあるものとして、次にモニタリングの結果について伺います。

事業課長 村内4か所の養豚場に8名の方にモニタリングをお願いしまして、平成27、28、29、30、31年度の5年間実施しております。それ以降はコロナ問題で訪問できなく31年度までの検査結果となっております。

す。養豚場Aでは匂いが強い日138、中187、弱157、養豚場Bでは強い日217、中134、弱112、養豚場C強い日70、中131、弱167、養豚場D強い日143、中305、弱289、であります。天候も入ってきませんが、曇りの日、雨の日とか夜は臭気が強いという結果も出ております。

岡部 もっと詳しくモニタリングするために、風向きにもよって変わると思いますが、モニタリングの協力者を増やしモニタリングを続けてほしいと思えますが如何でしょうか。

村長 モニタリングの協力者を増やすことは可能だと思えます。

岡部 ぜひ増やしてもらい、同時に課長でも担当者でも地域を歩き生の声を聴いてもらいたいと思えます。匂いで苦しんでいる人達がいるのは現実なので、次の3月議会でも続けていきますので宜しく。

泉崎村村の木について



飛知和 良子 議員

飛知和 新庁舎建築から5年。村の木がイチヨウの木であることを村民に言われるまで気が付かず、新庁舎建築の時に実行すればよかったと反省しています。村民の思いを汲み、歴史ある村の木について質問させて頂きます。イチヨウの木ですが、古い庁舎の前の道路の中心に何本か植樹されていますが、村の木であることをご協力して頂き、長い間お世話になっております。

また、村歌の中でも歌われており、時代が変わっても先輩の方々の思いは大切にしていかなければならないと考えます。

村長、この点について、庁舎の中に1本でもよいので植樹して頂ければと思いますがいかがでしょうか。

村長 村の木、イチヨウの木であります。植栽スペースとしてはフェンスの周っている敷地周囲の僅かなスペースしかないのです。当然ながら、植栽した樹木は成長し、隣接地への枝の伸びや、駐車スペースへの落葉、銀杏の実の落下、根の成長による舗装面の損傷等懸念される。慎重に検討して参りたい。

飛知和 古い庁舎の道路の所に、3本位植えてある。イチヨウの木は、村の木であることを認識して植えたのか。

村長 旧庁舎の前、公民館の前、イチヨウは植栽された。

ている。村の木を植栽スペースを確保して植えていると私は理解しておりました。

飛知和 村の木はいつ頃選んだのか。また、いつ作詞・作曲したのか。以前、かなり前ですが村歌の放送を聞いた記憶があります。今後、週1回位放送して、村民の心に村の木はイチヨウの木であると心に残り思い出すのではないかと。

村長 慎重に検討して参ります。

飛知和 村長が慎重に検討すると言ったのは、私の答えにはならないので、答えをお願いしたい。

村長 質問用紙に入っていないので調べておりません。答弁申し上げることが出来ません。

パークゴルフについて

飛知和 パークゴルフについてであります。現在、パークゴルフ場の4コースが完了し、立派で、村民みんなが楽しんで健康維持のため利用出来る大変すばらしいコースの場を造って頂いたことを村民の方々は感謝しております。この件については高齢者の方々も十分に理解しております。

自分たちもやりたいのですが、コースが難しいので自信がないという声とか、足が悪いので取りに行くのが大変だと、多くの方から聞こえて参ります。全ての村民が満足するようなわけにはいきませんが、高齢化100歳の時代に向け、元気で寝たきりにならないような一つの政策として、ぜひ考えていただきたい。高齢者の方の心のくみおき、簡単なコースを検討して頂きたい。

村長、すぐには申しませんが、よろしく申し上げます。

村長 現在のコースを変更することは出来ません。前

村長の思いとしては、簡単なコースではすぐに攻略されてしまい、つまらないとの意見、参考にして飽きずにお客様に何度も足を運んで頂くために、あえて難コースに整備された。健康の為に歩いて無理せず楽しんで頂くことが目的であります。新たなパークゴルフ場の新設、現在の所は計画もありませんし、やるつもりもございません。

飛知和 今後、余裕がありました場合には考えて頂きたいと思っております。



八雲神社地区について

野崎 八雲神社地区の空き地、空き家等その後の継続調査の報告を伺います。



野崎 隆 議員

事業課長 9月定例会にて、村に住民票のない方々の居住地の確認並びに空き地、空き家の調査を実施すると答弁したが、その後の調査に際し、個人情報保護法等の問題が支障となり思うように進まず、9月下旬に八雲ニュータウン自治会の方へ協力要請をしたところ、ようやくご理解を頂いて、11月8日付で協力依頼書を提出させていただきました。自治会では12月の役員会に

諮り、その後、来年2月の総会に提案するとの事であります。

自治会に協力いただく内容は、八雲神社は17の班編成になっており17名の班長がいる状態ですので班内において、空き地、空き家、その他居住環境に関する情報を班長から会長へ、そして村へ提供をいただく内容となっております。この協力依頼が自治会で承認されますと、行政と地域住民との連絡網が確立され迅速な対応が可能になると考えております。

野崎 もちろん個人情報保護は当然あると思います。大変シビアな問題で時間がかかるとは思いますが、空き地や空き家の不管理や、空き家の再利用、地域活性的の為に取組みを継続して下さい。

八雲神社西側の歩道と防犯灯について

野崎 八雲神社西側の児童館付近の歩道と防犯灯、これは、子ども達の安全のためには、必要不可欠かなと思っております。二小から児童館へと向かう所ですが雑木林と山に挟まれ歩道が途中で止まってしまっている。昼間でもうす暗く危険性があると思うが村としてはどう考えるのか伺う。

村長 八雲ニュータウンから第二小学校への通学路については歩道が整備されていますが児童館に至る道路における歩道については、現時点で計画はありません。

関和久、瀬知房地区の防犯灯について

いのではない危険ではないかと感じています。同じく屠胴原地区、瀬知房地区も裏路地に入ると暗い、ただただ暗い、犯罪も含めたトラブル、事故が予想されるが村としての見解を伺う。

村長 防犯灯の整備については、平成25年度から段階的にLED防犯灯への切り替えを行うとともに、防犯灯電気料についても村負担に切り替えてきました。また地域の要望に応え、通学路を中心に防犯灯の増設も行ってきました。現在、村で管理する防犯灯、これは千基を超える数となっております。今回、児童館付近の歩道整備に合わせた防犯灯は、担当課に現地を確認させ必要性を精査し検討します。それから関和久、瀬知房地区の防犯灯も担当課において現地確認の後、財政事情等を考慮し検討したいと思っております。

野崎 関和久地区、瀬知房地区の防犯灯ですが、関和久上町から下町にかけて防犯灯が少なく夜間の、中高生の自転車通学やウォーキング、犬の散歩など、交通量も大変多くその上、暗

野崎 村民の安全と村全体の環境向上の為にぜひ考え

ていただきたいと思えます。

コロナウイルスワクチン接種について

野崎 ワクチン接種についてですが現時点で2回目接種状況と、3回目の接種をどの様な形で行うのか伺う。

住民福祉課長 保健センター実施の集団接種は10月23日で終了し、その後は、南東北診療所で個別接種に切り替え継続しています。基本的に2回目の接種後8カ月を経過してから3回目を行うとされているので準備を進めていきたいと思えます。

野崎 多種多様な問題で大変かとは思いますが、村の運営と村民を守るためには是非ご尽力して頂きたいと思えます。



*** 次期定例会の予定 ***

開会 3月3日(木) / 一般質問 3月9・10日(水・木)の予定

新体制スタート



11月30日、箭内村長が就任後初めての定例会において泉崎村の村政の運営に対し所信表明を行いました。今後の村政運営に当たり、村政ビジョン「住んでよし、誇れる村づくり」を掲げ、4つの重点方針に掲げた政策の思いを述べました。

総務厚生常任委員会

11月30日(火)

総務厚生常任委員会に附託された請願書1件について委員会を開催した。

インボイス制度は、個人事業者などに対し、消費税納税事業者と免税事業者との取引において負担を強いるものであり、さらに新型コロナウイルス感染症の経済に対する影響も生じていることは十分理解できるところである。

しかしながら、国が定めるこの制度の修正及び開始時期を先送りする内容の請願であれば直ちに賛同するところでありますが、現段階で中止を求めるまでは賛同できないため、審議の結果不採択となりました。



経済文教常任委員会

12月8日(水)

所管事務調査として、関係各課より、今定例会に提出されております議案について、詳細な説明を受けました。

また、その他の意見の中で3件について、協議しました。一つ目は、さつき公園敷地内の外周に歩道を設置して、利用者の健康増進に活用する。併せて、施設の維持管理のため管理道路としても活用する案。

二つ目は、さつき公園駐車場の敷地内に、中学生の送迎用待機所の設置。使用されていない木材等を活用して設置する案。三つ目は、JR泉崎駅内にある既存のトイレでは、女性が利用しづらいため、資料館敷地内に公衆用トイレの設置する案。等について提案しました。



編集後記

新年を迎えお慶び申し上げます。

2022年は「壬寅(みづのえとら)」という干支になります。寅はもともと「演」が由来といわれ「人の前に立つ」、演と同じ読み「延(えん)」から「延ばす・成長する」という意味があるようです。この2つの組み合わせである壬寅には、「新しく立ち上がること」や「生まれたものが成長すること」といった縁起の良さを表していると言われています。今年も74名の方が新成人となり、夢をもって社会に羽ばたいてもらいたいです。

失敗なくして成功(成長)なし、今年は何事にも(トラ)イの年です(笑)

編集・発行責任者 議長 鈴木 清美
編集委員会 委員長 木野内 悟
副委員長 白石 正雄
委員 鈴木 盛利
" 鈴木 義男
" 岡部 英夫